



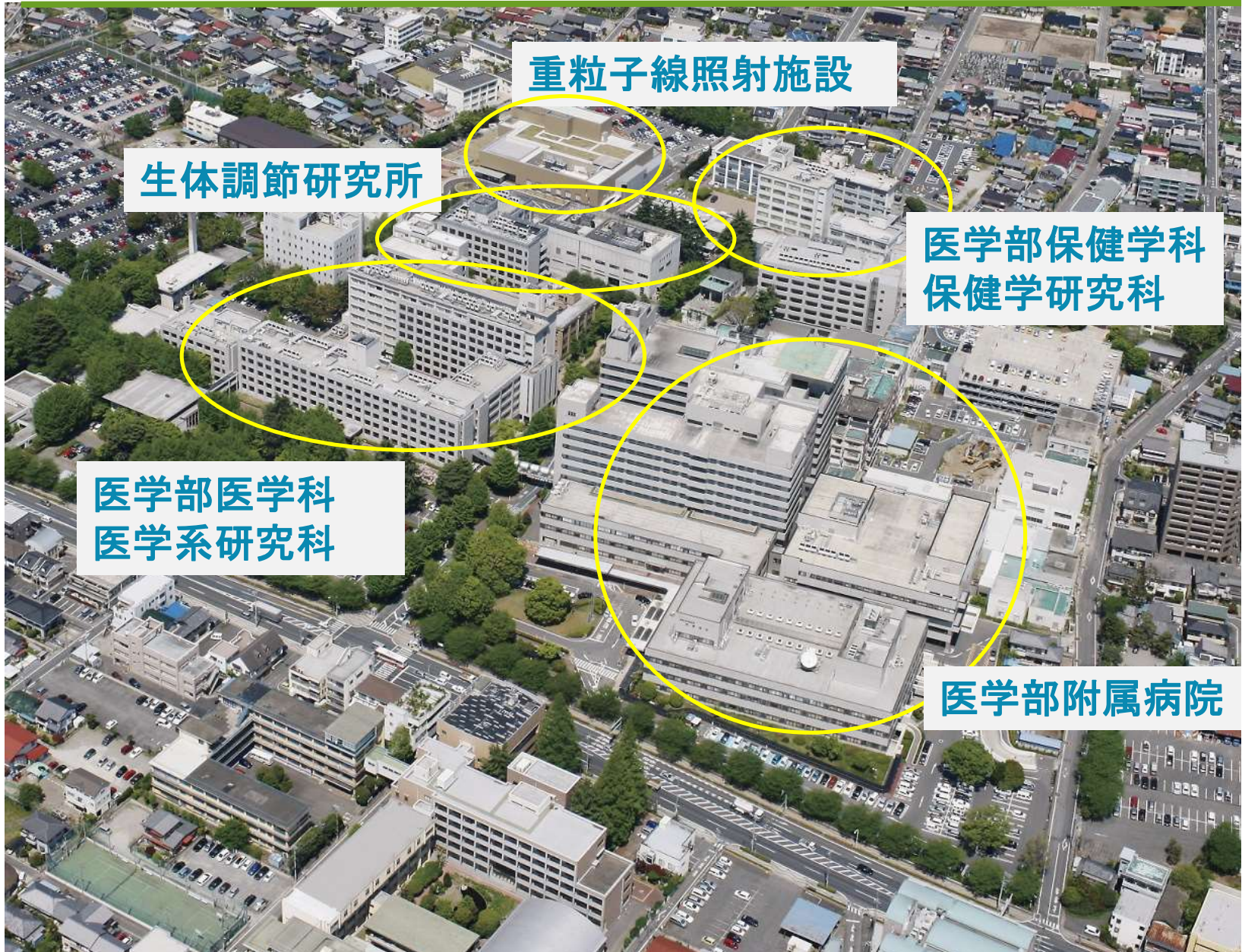
群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

群馬大学医学部医学科について

赤城山

群馬大学
医学部

群馬大学昭和キャンパス



重粒子線照射施設

生体調節研究所

医学部保健学科
保健学研究科

医学部医学科
医学系研究科

医学部附属病院

群馬大学医学部 附属病院

病棟

外来棟



群馬大学医学部医学科の 教育について

群馬大学医学部医学科 人材育成の理念（SESの理念）

医の科学（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）
の探求とそれらの統合による、医学の研究と教育の推進、
並びに医学と医療をリードする人材の育成

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) ～このような教育を行います～

＜教育の目標＞

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）の3つの面（SES）にわたって生涯自己研鑽する力がつく教育

1. 自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、コミュニケーションを通して相互理解を図る態度が身につく教育
2. 自然科学、医学、医療、人間と社会にかかわる知を習得し、それを実践でいかす力が身につく教育
3. 新たな課題にも対応できる問題解決能力が身につき、リサーチマインドが育つ教育
4. 生涯にわたって社会貢献と自己研鑽に努める意欲が育つ教育。

群馬大学医学部医学科のアウトカム

本学医学科では、

卒業時に目指すべき学生像と卒業時に身につけておくべき力を定めています。これらのアウトカムを達成すべく6年間の教育をおこないます。

卒業時に目指すべき学生像

医学・医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、

科学的知（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）

の3つの面にわたって生涯自己研鑽を続けることができる学生。



群馬大学医学部医学科のアウトカム

卒業時に身につけておくべき力

- A 自己省察（せいさつ）力
- B 知識の獲得と知識を応用する力
- C コミュニケーション能力
- D チーム医療の中で協働する力
- E 基本的な総合診療能力
- F 地域医療の向上に貢献する能力
- G 医学研究を遂行する能力
- H 自己研鑽

A～Hの各領域についてさらに具体的な目標が定められています
詳しくはウェブサイトをご覧ください

医学教育モデルコア・カリキュラム

国内のどの大学の医学部も、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に基づいた教育が求められています。本学ではこれに加えて

倫理教育、プロフェッショナリズム教育、人間理解や人との関わり方の教育、医療安全教育、シミュレーション教育、多職種連携教育、診療参加型臨床実習 の充実を図っています。

本学のカリキュラムと教育体制は 医学教育分野別評価で認定されています



国際評価機関である
日本医学教育評価機
(JACME) による

医学教育分野別評価の
審査を受けて、本学の
カリキュラムと教育体
制が、国際基準に適合
していることが認定さ
れました。

学年	1	2	3	4	5	6
----	---	---	---	---	---	---

科学的知 Science	医学・医療従事者として必要な知識を身につける						
	医学の基礎を学ぶ			応用的な内容を学ぶ			
	<教養教育> 人文科学 社会科学 自然科学 健康科学 外国語教養科目 総合科目 スポーツ・健康 英語 データ・サイエンス 学びのリテラシー1, 2	英語 <生命医学Ⅱ> 膜生理学 人体発生学 生化学 分子病態学 組織学 肉眼解剖学 神経解剖学 生理学 神経科学	<生命医学Ⅲ> 免疫学 細菌学 寄生虫学 ウイルス学 医学研究実習 公衆衛生学 <生命医学Ⅳ> 薬理学 病理総論 法医学 検査学 発達と老化 主要症候	<臨床医学Ⅱ> 消化管 皮膚・形成外科 肝胆膵 産科婦人科・周産期医学 血液学・リウマチ膠原病学 内分泌代謝・乳腺 脳・神経系 臨床試験・臨床研究 臨床放射線・腫瘍学 <臨床医学Ⅲ> 整形外科・リハビリテーション 小児科・小児外科 画像診断・核医学・IVR 精神科・眼科 病理各論	共用試験 C B T・臨床実習前 O S C E	臨床実習入門 臨床実習1 臨床実習達成演習 臨床実習2	臨床実習後 O S C E 実践臨床講義 卒業試験
	<生命医学Ⅰ> 自然科学演習・実験 系統発生 医学統計学 医学情報処理演習 動物実験学 遺伝学	<臨床医学Ⅰ> 循環器 感染症 耳鼻咽喉・口腔顎顔面 呼吸器 腎臓病学・泌尿器科学 麻酔・救急 臨床薬理学総論 放射線腫瘍学・腫瘍内科学	<専門基礎> 物理学演習 化学演習 物理学 化学 生物学 医系の数理科学	地域保健医療論			
倫理観育成とチームのリーダーとしてふさわしい人格を身につける							
倫理 Ethics	<人間科学> 医の倫理学 行動科学 チーム医療実習 臨床行動科学 医系の人間学1, 2, 3	<臨床医学講義・演習> チームスキル演習・ チームワークトレーニング					
技能 Skill	問題を解決する能力を涵養する						
	<専門基礎> 科目内での実習・演習 <生命医学Ⅰ> 学びのリテラシー 3 <生命医学Ⅱ、Ⅲ> 科目内での実習・TBL	医系の人間学3 <生命医学Ⅳ> 科目内での実習・TBL	臨床技能を修得する <臨床医学講義・演習> 臨床基本手技実習 臨床推論TBL				
	基礎研究及び発表能力を涵養する						
	医学研究実習		(希望者) MD-PhDコース				



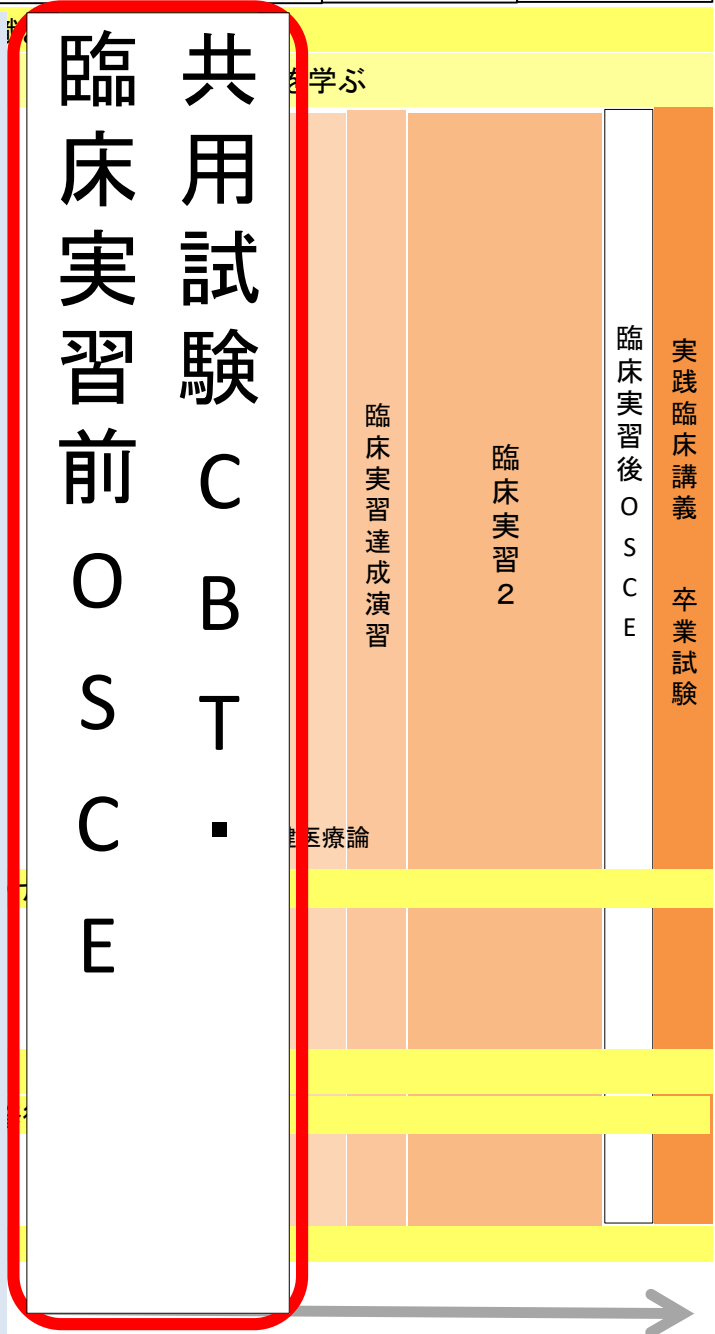
学年	1	2	3	4	5	6
----	---	---	---	---	---	---

共用試験：

臨床実習生として臨床実習に参加するために必要な知識・技能・態度を評価する全国統一試験。この試験に合格することが、医師国家試験の受験要件にもなっています。

CBT (computer-based testing)
総合的な医学知識を問う試験

OSCE (Objective Structured Clinical Examination)
技能・態度を問う実技試験



科学的知
Science

倫理
Ethics

技能
Skill

臨床実習生として
診療参加型臨床実習へ！

医療チームの一員として診療に参加
します

大学附属病院だけでなく、県内各地
の基幹病院や診療所を含む医療施設
の協力のもと、地域の特性に応じた
医療について学びます

臨床実習

臨床実習後 O S C E
実践臨床講義
卒業試験



診療参加型臨床実習



附属病院だけでなく県内全域の医療機関で臨床実習を実施しています。
5年次～6年次の臨床実習では、45施設172プログラムから実習先を選択できます。

学年	1	2	3	4	5	6
----	---	---	---	---	---	---

科学的知
Science

倫理
Ethics

技能
Skill

臨床実習後OSCE :

臨床実習で身につけた臨床能力を評価する試験、
全国共通課題を含む

臨床実習後OSCEと卒業試験の両方に合格すると
医師国家試験の受験資格が得られます。

卒業試験
臨床実習後
OSCE

「国家試験に合格して医師になること」
はゴールではありません

卒業時点で、臨床研修に進み、医師としてスタートできる知識・技能・態度を身に付けていること、生涯にわたり自己研鑽を行う姿勢をもつことが求められています

自ら努力する姿勢が重要です

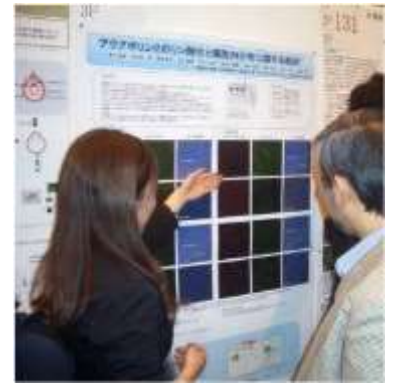
特別プログラム

- ・ グローバルフロンティアリーダー（GFL）
育成プログラム

<https://gfl.jimu.gunma-u.ac.jp/>

全学部の学生が参加できるプログラムで、通常の学部・学科等のカリキュラム以外の活動として、所属学生（GFL生）たちが協力し合いながら多種多様な教育プログラムに取り組みます。国際的視野を持ち、広く国際社会に貢献し得る人材の養成を目指します。

特別プログラム



- MD-PhDコース

<https://md-phd.showa.gunma-u.ac.jp/>

研究に興味がある学生にお勧めです

授業時間以外に研究室で研究をおこないます



医学科卒業後に本学の大学院に進学した場合、一定の条件を満たせば大学院を3年で修了することもできます

国際交流

インドネシア、コロンビアの提携校との交換留学プログラム等、海外留学プログラムも複数用意されています。

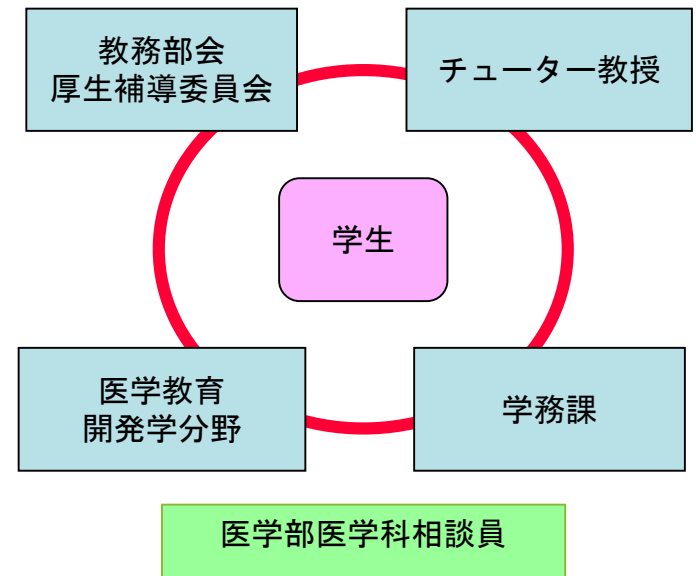
大学の援助を受けられる短期留学プログラムもあり、渡航費の一部は同窓会や後援会から援助を受けることができます。



チューター制度

新入生 2～4 人に対し 1 人の教授が担当チューターとなり、卒業まで学生をサポートします。

入学時のガイダンス、相談
再試験の申請や確認
修学時の色々な問題・悩みの相談
卒業後の研修先への推薦状の作成
など



チューターは学生の側に立った「保護者」的な役割

地域医療マインドを持つ意欲的な人材を支援します！

地域医療枠制度



2023年4月、新入生県庁訪問

群馬県緊急医師確保修学資金制度

群馬県と群馬大学は、県内の医師不足に対し相互に連携し、平成21年度から群馬大学医学部の定員増を実施しています。

県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち群馬大学医学部医学科に進学する地域医療枠学生に対して、修学資金を貸与する制度を設けています。

群馬県の医師不足状況

医師総数の不足

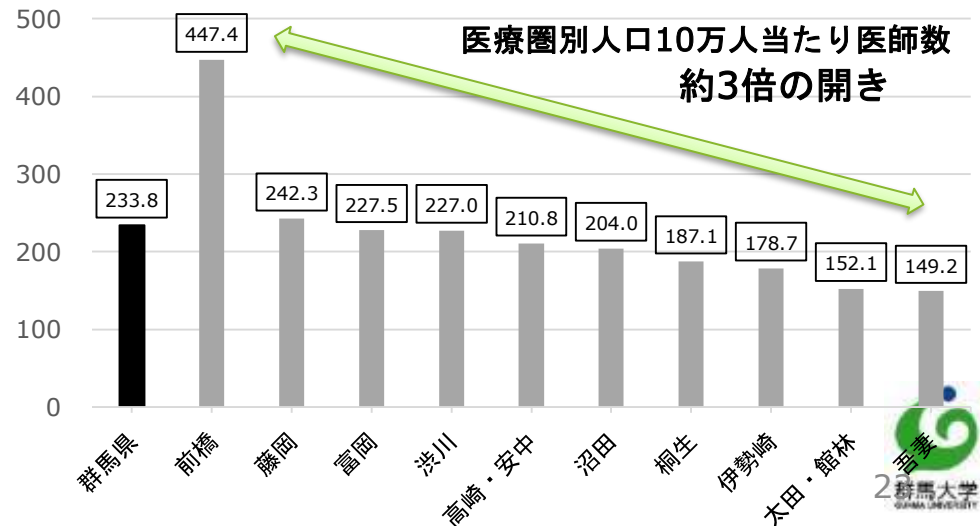
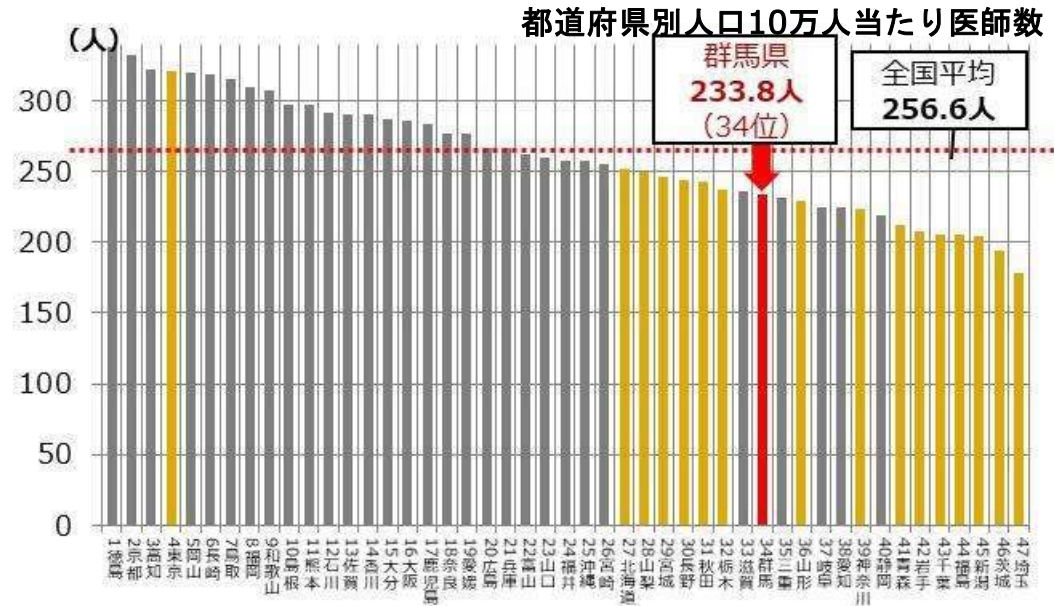
人口10万人当たり医師数は全国34位で、全国平均を下回っています。

医師の地域偏在

人口10万人当たり医師数は、前橋医療圏が最多で、太田・館林、安中、吾妻医療圏との地域偏在が問題になっています。

医師の診療科偏在

産婦人科、小児科、麻酔科、救急科、外科、整形外科、総合診療科が特に不足する診療科とされています。



群馬県緊急医師確保修学資金制度

対象者：群馬大学医学部医学科入学試験の地域医療枠合格者
推薦入試、一般入試の各試験に枠を設けています（令和2年度入学試験より別枠方式で選抜）

貸与額：月額100,000円（年額 1,200,000円） 【初年度は入学料相当額を加算】
※ただし、本人及び生計を一にする者の所得額の合計が1,500万円未満の場合は、
月額150,000円（年額 1,800,000円）

貸与期間：6年間

貸与条件：群馬県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、卒業後、県内の特定病院において、一定期間、臨床研修及び診療業務に従事すること。
貸与期間中に修学資金貸与を辞退することは、原則として認めません。

返 還（一部抜粋）

- ：次の要件をすべて満たした場合、修学資金の返還が免除されます。
- ・卒業後、貸与を受けた期間の3分の5に相当する期間、県内特定病院で診療業務に従事する。
 - ・4年間以上は、「医師不足地域」の特定病院又は「特に不足する診療科」にて勤務すること。
（へき地医療拠点病院又はへき地診療所に勤務する場合は3年間以上）。
 - ・従事必要期間は「**ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス**」に参加すること。



地域医療を通じて群馬県に貢献したい
という医学生を求めています！

地域医療枠学生の活動

地域医療体験セミナーin群馬



公立富岡総合病院・公立七日市病院
・上野村へき地診療所

情報交換会



2022年12月、「石井ホール」

埼玉・群馬の健康と医療を支える 未来医療人の育成事業

群馬大学は、埼玉医科大学と連携し、
将来の地域医療に貢献できる医療人を育成します

群馬大学、群馬県、群馬県医師会、公立藤岡総合病院、
公立富岡総合病院、伊勢崎市民病院、桐生厚生総合病
院、公立館林厚生病院、太田記念病院



連携・共同

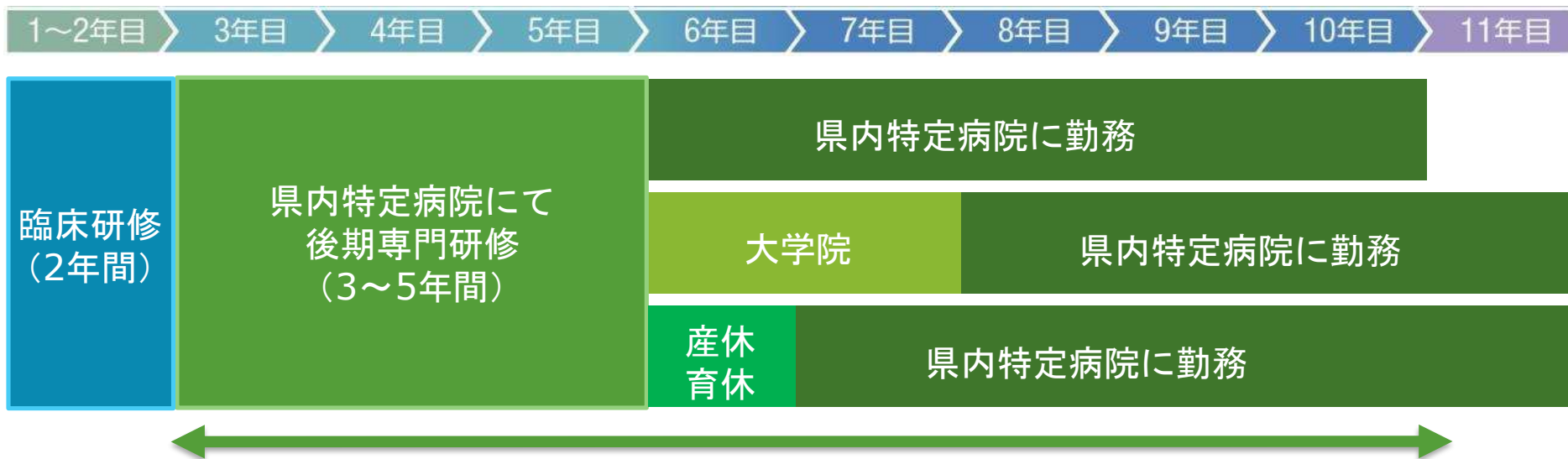
埼玉医科大学、埼玉県、埼玉県医師会、埼玉県立大学
埼玉県立循環器・呼吸器病センター、秩父市立病院、
東松山市立市民病院、深谷赤十字病院、済生会加須病院、
小川赤十字病院、小鹿野中央病院



令和4年度文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業選定
(令和4年度～10年度、7年間)

地域医療枠卒業生のキャリア形成

キャリアプラン（例）



8年間のうち、**4年間以上**は、「**医師不足地域**」の特定病院または「**特に不足する診療科**」に勤務します。

医師不足地域：

前橋保健医療圏を除く9つの保健医療圏（保健医療計画策定時点）

特に不足する診療科：


小児科、産婦人科、麻酔科、救急科、外科、整形外科、総合診療科

ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス

群馬県内の特定病院に従事しながら
基本領域（19診療科）の専門医取得をめざします

基本領域専門医

総合診療科
臨床検査
病理
形成外科
リハビリテーション科
救急科
放射線科
泌尿器科
眼科
整形外科
精神科
小児科
麻酔科
脳神経外科
耳鼻咽喉科
産婦人科
外科
皮膚科
内科

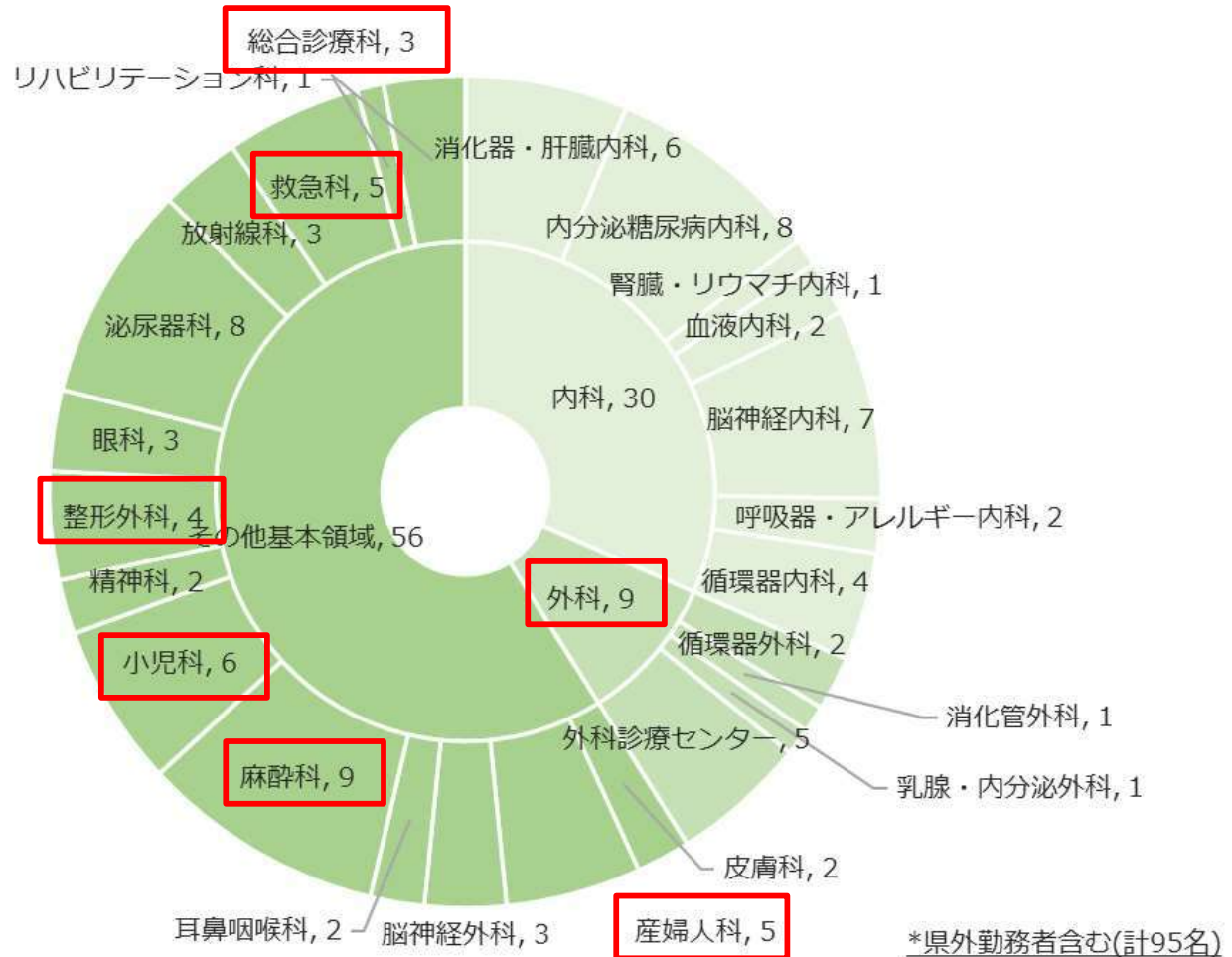


地域医療枠学生の推移

入学年度	入学者数	編入学者数	合計
H21年度	5	0	5
H22年度	17	1	18
H23年度	16	2	18
H24年度	16	2	18
H25年度	18	0	18
H26年度	17	1	18
H27年度	16	2	18
H28年度	17	1	18
H29年度	16	2	18
H30年度	17	1	18
R01年度	18	0	18
R02年度	20	0	20
R03年度	18	0	18
R04年度	18	0	18
合計	229	12	241

※編入学はH30年度入学まで

地域医療枠卒業生の診療科決定



診療科が決定した医師は現在95名となっています。
群馬県で不足している診療科で活躍する卒業生も増加しています。

群馬県緊急医師確保修学資金制度

群馬県ホームページ

<https://www.pref.gunma.jp/02/d1010069.html>



群馬県地域医療支援センターホームページ

<https://www.gmcc.jp/>



お問い合わせ先はそれぞれのホームページをご参照ください

医学科の入試の種類（多様な選抜方法）

各選抜方法の概要

選抜区分	学校推薦型選抜	一般選抜(前期日程)	編入学
募集人数	一般枠 25名 地域医療枠 12名*	一般枠 65名 地域医療枠 6名*	15名
入学学年	1年次	1年次	2年次
ポイント	各高校から5名以内 2022年度入試から 大学入学共通テストを課す**	大学入学共通テスト 450点換算 (英語筆記:リスニング = 4:1)	学士や大学生 (2年以上在学)
選抜方法	小論文 面接 大学入学共通テスト**	数学 150点 理科(物理・化学) 150点 小論文 150点 面接	一次試験 小論文 二次試験 面接

*地域医療枠で合格とならなかった場合、一般枠にて再度合格者の判定を行う。(逆は不可)

**5教科7科目(理科は生物・物理・化学から2科目選択)の得点が著しく低い場合には不合格となる。

学校推薦型選抜

(2024年度(令和6年度)入試) 2024年(令和6年)4月入学

出願期間 : 2023年(令和5年)11月1日(水)～11月7日(火)

学力試験等 : 2023年(令和5年)11月18日(土)～11月19日(日)

大学入学共通テスト : 2024年(令和6年)1月13日(土)～1月14日(日)

合格者発表 : 2024年(令和6年)2月7日(水) 10:00予定

学校推薦型選抜の出願要件

出身学校1校につき一般枠と地域医療枠を合わせて5名以内とし、次の各項に該当する者

1. 成績、評価等に優れ、調査書の学習成績概評がA段階(3年間全科目の評点平均 ≥ 4.3)に属し、学校長が責任を持って推薦できる者
2. 数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bのうち2科目以上、
理科については、物理、化学、生物のうち2科目以上を履修(見込)の者
3. 合格した場合、入学することを確約できる者

学校推薦型選抜の選抜方法

大学入学共通テスト(5教科7科目:理科は生物・物理・化学から2科目選択)、
面接、小論文(2題)及び出願書類を総合して判定

一般選抜（前期）

（2024年度（令和6年度）入試）2024年（令和6年）4月入学

大学入学共通テスト：2024年（令和6年）1月13日（土）～1月14日（日）

出願期間：2024年（令和6年）1月22日（月）～1月31日（水）

学力試験等：2024年（令和6年）2月25日（日）～2月26日（月）

合格者発表：2024年（令和6年）3月7日（木）10：00予定



医学と医療をリードする 人材の育成

The development of human resources of leading
medical science and medical treatment

Pick up contents

ピックアップコンテンツ

さまざまなコンテンツで、群大医学部医学科の魅力や特徴をご紹介します。

群馬大学医学部医学科ウェブサイトもご覧ください

<https://www.med.gunma-u.ac.jp/>

